

# 水道 News 現場レポート17 エコハイパー施工例

保護層付ポリエチレン管「エスロンエコハイパー」JW」。製品の特長である「高耐久」「紫外線劣化防止」を生かし、傾斜地での配管に採用されています。

「エスロンエコハイパー」JW」の外面をリサイクルポリエチレン樹脂で保護した「エコハイパー」JW」。紫外線による管の劣化を防止するほか、砕石等による外傷から、配管を防護します。

重機等による機械掘削が困難な、急傾斜地、山間地、土砂崩れ現場など、従来配管で施工困難な場所で役立っています。



[ 事例1 ] 山間傾斜地での施工  
エコハイパー JW150Aの施工状況。  
150 - 5mの管重量は、約50kg / 本。  
重機が侵入できない山間部でも、人力で小運搬  
出来ます。



[ 事例1 ] 山間傾斜地での施工  
外面保護層には、柔軟性の高い低密度ポリエチレン  
を採用。エスロンエコハイパー同様生曲げ施工により、構  
造物を避けて、配管出来ます。



[ 事例2 ] 急傾斜地での施工  
急傾斜地(のり面)にエコハイパー JW150  
Aを布設しました。斜面の傾斜45°以上。管  
固定には、コンクリート基礎を用いました。



[ 事例2 ] 急傾斜地での施工  
急傾斜部分など、掘削が困難な場合でもエコハイパー  
なら、紫外線劣化の心配がありません。安心して  
使用できます。



[ 事例 3 ] 破損管路の復旧  
土砂崩れにより、破損した導水管 7 5 A の復旧  
作業にエスロハイパー JW 7 5 A を使用しま  
した。



[ 事例 3 ] 破損管路の復旧  
土砂崩れが発生した部分は、地盤が安定していな  
い為、斜面下に配管を布設していきます。



[ 事例 3 ] 破損管路の復旧  
直線部分は、作業性の良い場所で、あらかじめ  
E F 接合して作成した長尺管を運び込んで施  
工しました。7 5 A の場合 2 本つないでも約 3  
0 k g と軽量です。



[ 事例 3 ] 破損管路の復旧  
柔軟性のあるエコハイパーなら、足場が悪い山間  
部でも、樹木を避けながら布設場所まで運び込め  
ます。

**山間傾斜地など、従来施工が困難だった部分の施工省力化  
にエスロンエコハイパー JW が協力します。**